

# 相模原養護学校 学習活動研究会



平成27年12月18日

1 学校紹介

2 本校の研究活動

# 1 学校紹介

## 沿革

- 昭和50年 第1回入学式（小・中学部）
- 昭和51年 高等部設置
- 昭和54年 スクールバス運行開始
- 平成18年 橋本分教室設置

- ・知的な障害のある児童・生徒の学校です。
- ・小学部から高等部までの児童・生徒たちが通っています。
- ・相模原市、座間市、海老名市、綾瀬市、厚木市、愛川町の5市・1町から通学しています。
- ・橋本高校に分教室（高等部）があります。

# ある日の日課

小学部	
9:10	着替え 朝の活動
9:50	朝の会
10:15	体づくり
10:55	ことばかず
11:30	給食
12:25	着替え 帰りの会

中学部	
9:10	朝の会
9:50	体力作り
10:25	ことば・かず
11:05	生活
11:45	配膳準備 給食
13:05	食堂清掃 余暇指導
13:15	音楽
14:00	掃除
14:15	帰りの会

高等部	
9:00	朝の会
9:15	体力づくり
9:45	生活国語
10:45	美術
12:05	給食
12:35	昼休み
13:15	進路
14:10	掃除
14:35	帰りの会

# さまざまな工夫の例 —教室の表示—





# — 個別の支援 —



# カリキュラムの特徴 ～職業の授業と進路



# 進路の過程（例）

## ○ 小学部

- ・少しずつできることを増やす  
(母親→先生)
- ・サインが出せる  
(ゆびさし、肩たたき)
- ・手伝いをする  
(誰かと一緒)

## ○ 中学部

- ・地域へ行動範囲を広げる
- ・作業学習を経験する
- ・お金を使う
- ・手伝いをする  
(一人で)

## ○ 高等部

- ・自力通学
- ・作業学習+
- 現場実習**
- ・社会人のマナーとコミュニケーション
- ・なぜ働くのか

# 職業の授業

## 中学部

- クリーン
- クラフト
- リサイクル
- 農園芸

## 高等部

- 受注
- 農作業
- 紙工
- 縫製
- 製菓・サービス
- 陶芸
- 洗濯
- クリーン
- 環境サービス

# 進路学習

## ①職業学習

- ・ 中学部が毎週水曜日
- ・ 高等部が毎週金曜日に実施

## ②現場実習

- ・ 高等部2年生と3年生
- ・ 個々に期間は異なるが基本は2週間

## ③進路選択と決定

- ・ 高等部3年生
- ・ 会社や施設とのマッチング

# 高等部卒業後の進路

## ①福祉施設

- ・作業＋生活を豊かに(各自の活動)
- ・企業就労のためのトレーニング

## ②職業訓練

- ・全日型の職業訓練校
- ・入寮型の職業訓練施設

## ③企業就労

- ・清掃、物流、接客等、多種多様な職種

## 2 本校の研究活動



# 相模原養護学校のこれまでの研究

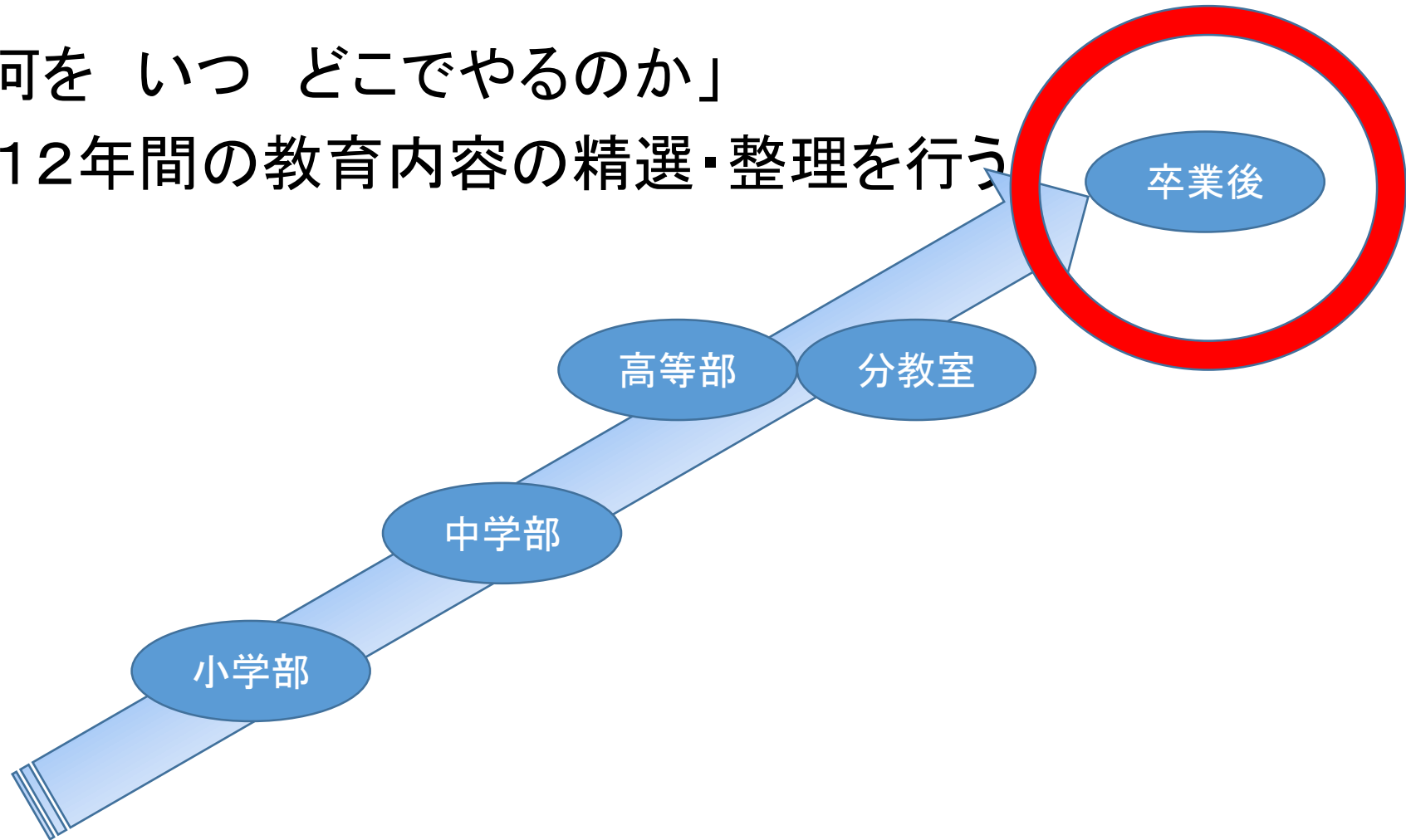
2010年 (平成22年)	『児童生徒が主体的に活動できる力を育む授業実践』 —「自立と社会参加」に向けた新学習指導要領に基づく 新教育課程編成—
2011年 (平成23年)	『「自立と社会参加」をめざす新教育課程編成の工夫・改善』 —児童・生徒が一連の行動を、目的をもって行うことができる—
2012年 (平成24年)	『学びの般化をめざす「基礎・伸展・活用」の構造に基づく教育 課程』 —教育課程の再検討＋教科会—

2013年 (平成25年)	『一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるための授業開発研究』 —仮説検証型の実践—
2014年 (平成26年)	『児童・生徒一人一人のよりよい社会参加を目指して』 —生徒に1番必要な実践を考える時間—
2015年 (平成27年)	『児童・生徒の社会参加の為の授業づくり』 —子どもの未来の為に、今、授業で何をするのか—

# 2010年度～2012年度 「教育課程編成」

- ・「何を いつ どこでやるのか」

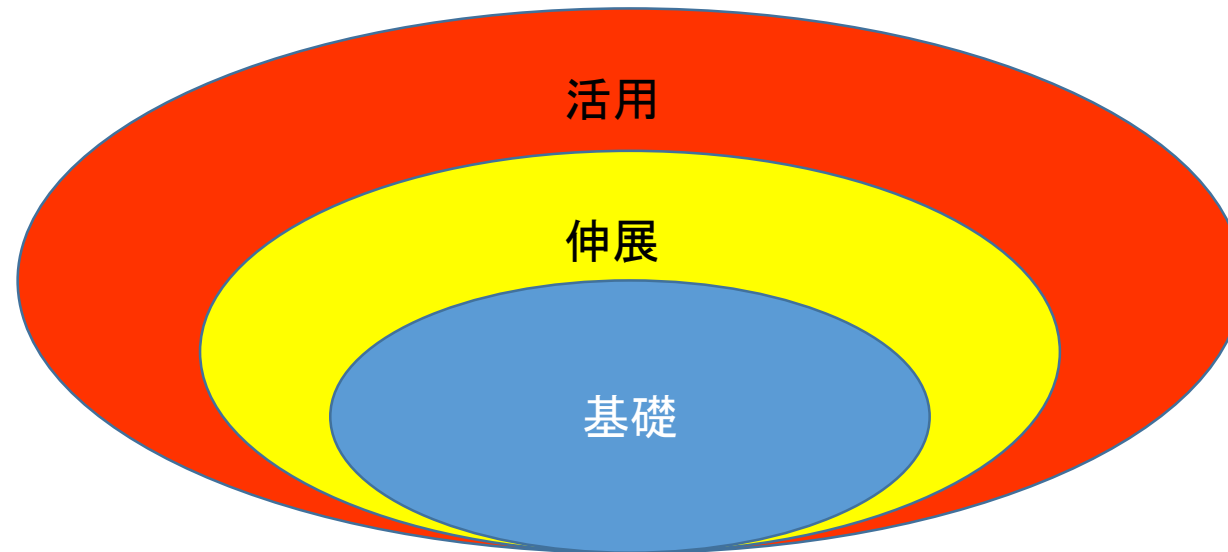
12年間の教育内容の精選・整理を行う



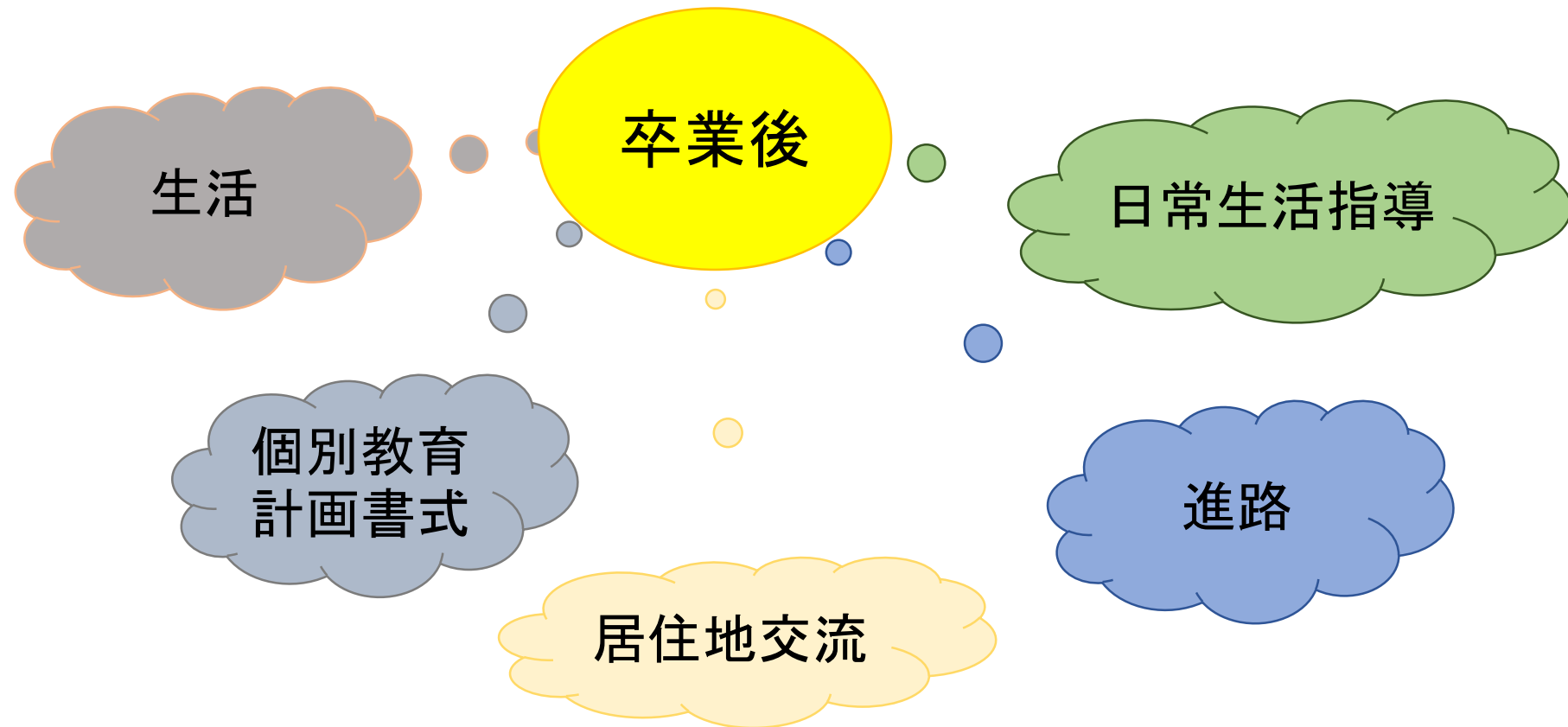
# 核となる考え方「般化」とは

「いつでも どこでも だれとでも」

→身につけた力をいろんな場面で使えるようになること。

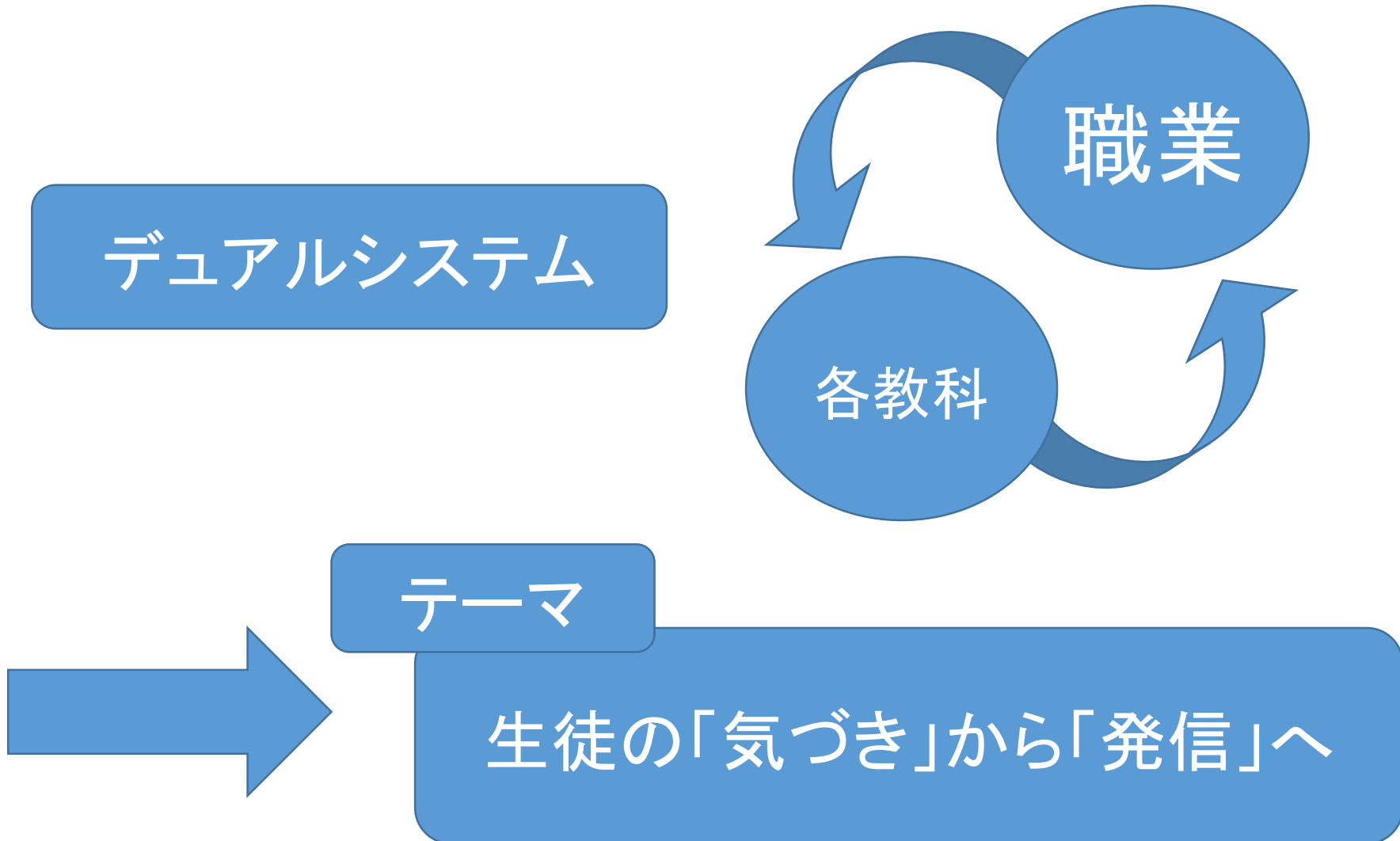


# 2013年～2015年 「今、必要な実践を」





# 分教室について



# 平成27年度の研究活動

## 1 各学部ごとの研究

- ・月1回の研究日を設定。

## 2 教育研究班による研究

- ・職員室前掲示板に「朝の会」、「清掃」の各学部の取組みを紹介。
- ・「研究班だより」の発行

## 3 神奈川県特別支援学校知的障害教育研究会(神知研)での発表

# 学習活動研究会のねらい

- ・児童生徒の学び・活動に焦点をあてる。

⇒これまでの授業研究は、授業者の技術に焦点があてられることが多かった。

- ・授業のリフレクション(省察)を通して、授業者の行動の意味や効果について検討する。
- ・ともに児童生徒について考えることにより、児童生徒・授業者・参加者それぞれの成長をうながす。

# 授業振り返り(リフレクション)シート

## 授業振り返りシート 参観者用

- 1 授業の中で、印象に残った児童生徒の発言や行動には、どのようなものがありましたか。
- 2 児童生徒が、この授業でもっとも学んだことは何だと思いますか。
- 3 児童生徒の学び・学び合いを促進するための、教員の工夫として、どのようなものがありましたか。
- 4 授業の中で、教員側の想定とは異なる児童生徒の学びはありましたか。

授業者に伝えたいこと

授業を振り返る視点として作成しました。  
研究協議をするための参考として、  
お使いください。

# 研究協議の流れ

## 1 授業者から

- ・授業のねらいの説明、検討課題の提案

## 2 授業ビデオによる検討

## 3 グループ協議

「児童生徒は何を学んだか」

「どこまで理解し、どこにつまずいたか」

「さらなる授業改善のためには何が必要か」など、

児童生徒の学びから、授業について意見を出し合う。

## 4 助言・授業者からの振り返り



# この後の予定

15:00 分教室生徒発表 : 食堂

15:30 自作教材展 : 美術室

16:15 研究協議

小学部 : 縫製室

中学部 : 高第一学習室

分教室 : 食堂

研究協議では、ご感想ご意見をお願いします。

ご清聴ありがとうございました。